

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	地域福祉センターデザインビルド型小規模ESCO事業				会計	款	項目	大	小
政策	06	公・民パートナーシップによる構想実現と効率的、効果的に行財政運営（行政の充実）			主管課	高齢者生きがい推進課			
施策	6-2	健全で効率的な行財政運営			主管課長	横山 友二			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	地域福祉センター利用者	意図	ESCO事業により施設環境を向上し、環境負荷やコスト削減を果たす。
事業内容	地域福祉センターの空調・照明・ボイラー等をESCO事業により更新することで、快適で安定した施設環境の提供が可能となるだけでなく、機器保有のリスクの移転、契約による光熱水費削減の保証、さらに環境負荷の削減ができる。			
事業開始から現在までの状況変化	平成26年度にボイラー更新、浴室改修、雨漏りを含めた改修工事をESCO事業と抱き合わせて実施し、ボイラー、浴場、雨漏り工事に相当する改修分の支払いを平成26年度中に行った。平成28年度から平成39年度までは本来のESCO事業委託費を償還払いする。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	電気使用量		108,179	76,910	
②	ガス使用量		13,812	17,751	m ³	↓↓↓	
③	上下水道使用量		8,134	7.52	m ³	↓↓↓	
④	利用者数		11,466	11,737	人	↑↑↑	

指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
事務事業のコスト	平成25年度	平成26年度	平成27年度
事務事業の総コスト(a=b+c)		21,036,480	9,744,660
事業費(b)(円)		19,999,980	8,615,160
うち一般財源		19,999,980	8,615,160
職員給与費(c)(円)		1,036,500	1,129,500
人役・職員(人)		0.15	0.15
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

平成8年に建設された施設であり、施設内各所について老朽化に伴う修繕の必要があり、平成26年度ESCO事業において空調設備、照明設備及び浴場設備の改修工事を行った。平成27年度は、電気使用量、上下水道使用量は減少したが、ガス使用量は増加した。全体の高熱水費は減少している。

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	空調設備、照明設備、ボイラー及び浴室の改修したことから、利用者の満足度を向上させるとともに光熱水費の削減に努めるよう指定管理者に適宜助言指導を行う。	③取組の課題	設備の更新に伴う光熱水費の削減に留めず継続して節電、節水等の意識を持ってもらうよう指定管理者に助言指導をすることが必要である。
②今年度(H27)に実施した取組	指定管理者に対し、必要な助言指導を行い利用者の快適性を向上させた。また、光熱水費の削減に努めるよう助言指導を行った。	④今後の改善計画	必要以上に光熱水費が上昇しないよう節電、節水の意識をもって、管理事務に努めるよう指定管理者に助言指導を行う。